

地方自治法第199条第7項の規定に基づく令和5年度財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

令和5年11月30日

飯能市監査委員 森 健 二

同 加 涌 弘 貴

1 監査の対象団体  
西川広域森林組合

2 監査の実施日  
令和5年10月5日

3 監査の場所  
西川広域森林組合（飯能市林業センター内）

4 監査の範囲及び方法

令和4年度の補助金に係る出納その他の事務の執行について、あらかじめ提出を求めた監査資料及び提出された諸帳簿、証拠書類を精査し、また、関係職員等から説明を聴取するとともに、補助金の交付目的が十分達成されているか、交付申請等の手続、収支の経理が適正であるか否かについて監査を実施した。

なお、本監査は飯能市監査委員監査基準に準拠して実施した。

5 西川広域森林組合の概要

(1) 設置目的

組合員が協同してその経済的社会的地位の向上並びに森林の保続培養及び森林生産力の増進を図ることを目的とする。

(2) 設置年月日

平成14年6月1日（広域合併により「西川広域森林組合」設置）

(3) 役職員（令和5年8月31日現在）

ア 役員

代表理事組合長	1人
副組合長	2人
理事	12人
監事	3人

イ 職員

課長	1人
事務職員	8人
作業班	8人

(4) 事業の概況

ア 主要な事業活動の内容

当市との協定に基づく民有林の間伐事業については、152ヘクタール実施した。

イ 個別事業の概況

「飯能市森林認証協議会」

平成30年度に設立され、令和5年3月31日時点における飯能市内の認証森林は、約5,047ヘクタールである。

①指導部門

指導事業

・間伐材の利用促進を図るため、NPO法人と連携し、ボランティアとともに

に林地残材の搬出を実施した。

- ・組合職員の木材生産技術・ノウハウの向上、経営の改善を図るため外部指導員による研修を実施した。

②販売部門

販売事業

- ・1,187立方メートルの間伐材搬出を実施し、18,362千円で販売した。

③森林整備部門

森林整備事業

- ・間伐175ヘクタール、作業道整備2,048メートルを実施した。
- ・林道の改良・復旧事業は、久林線と松倉線、炭谷入線の3路線を実施した。

利用事業

- ・森林保険への加入が1件あった。

購買事業

- ・事業物資の買取購買を実施した。

ウ 事業の成果

- ・第1回 西川広域森林組合経営改善計画進捗管理委員会
- ・森林の仕事ガイダンス
- ・西川分会安全パトロールなど

(5) 補助金等の名称

飯能市西川広域森林組合補助金

(6) 補助金等の充当状況

内 容	総事業費 (A)	市補助金 (B)	その他補助金	比率(B/A)
委 託 費 謝 礼 金	円 749,000	円 499,333	円 0	% 66.7
管 理 費 監督指導費	円 2,199,415	円 2,199,415	円 0	% 100.0
合 計	円 2,948,415	円 2,698,748	円 0	

## 6 貸借対照表

令和5年3月31日現在 (単位:円)

科 目	内 訳	小 計	合 計
資産の部			
流動資産			
1 現 金		31,925	
2 預 金		32,478,470	
3 受 取 手 形	0		
貸倒引当金(控除)	<u>0</u>	0	
4 売 掛 金	0		
貸倒引当金(控除)	<u>0</u>	0	
5 棚 卸 資 産		81,818	
6 前 払 費 用		0	
7 未 収 金	33,409,100		
貸倒引当金(控除)	<u>200,454</u>	33,208,646	
8 仮 払 消 費 税		0	
9 差 入 保 証 金		0	
10 仮 払 金		<u>0</u>	
流動資産合計			65,800,859
固定資産			
有形固定資産			
1 建 物	42,171,876		
減価償却累計額	<u>36,640,321</u>	5,531,555	
2 建 物 附 属 設 備	1,265,205		
減価償却累計額	<u>1,265,203</u>	2	
3 構 築 物	4,661,950		
減価償却累計額	<u>4,661,943</u>	7	
4 機 械 及 び 装 置	11,885,122		
減価償却累計額	<u>11,885,116</u>	6	
5 車 輜 運 搬 具	3,145,657		
減価償却累計額	<u>3,145,654</u>	3	
6 器 具 及 び 備 品	1,574,400		
減価償却累計額	<u>1,574,396</u>	4	
7 土 地		24,580,085	
8 分 収 林		<u>322,033</u>	
有形固定資産合計		30,433,695	
無形固定資産			
1 電 話 加 入 権		307,696	
2 地域森林管理システム	4,590,555		
減価償却累計額	<u>4,590,555</u>	<u>0</u>	
無形固定資産合計		307,696	
外部出資			
1 系 統 出 資 金		13,597,000	
2 系 統 外 出 資 金		<u>1,167,000</u>	
外部出資合計		14,764,000	

科 目	内 訳	小 計	合 計
その他の資産			
1 農林漁業資金貸付金		0	
2 預 託 金		<u>29,390</u>	
その他の資産合計		<u>29,390</u>	
固定資産合計			<u>45,534,781</u>
資 産 合 計			<u>111,335,640</u>
負債の部			
流動負債			
1 支 払 手 形		0	
2 買 掛 金		0	
3 短 期 借 入 金		0	
4 未 払 金		13,338,293	
5 未 払 法 人 税		180,000	
6 未 払 費 用		0	
7 未 払 消 費 税		404,500	
8 前 受 金		0	
9 預 り 金		172,387	
10 仮 受 金 債		0	
11 雑 負 債		<u>0</u>	
流 動 負 債 合 計			14,095,180
固定負債			
1 農林漁業資金借入金		0	
2 林業改善資金借入金		0	
3 退職給付引当金		<u>0</u>	
固 定 負 債 合 計			<u>0</u>
負 債 合 計			14,095,180
純資産の部			
組合員資本			
出資金			
出 資 金		85,810,000	
未 払 込 出 資 金		<u>0</u>	
出 資 金 合 計		85,810,000	
剰余金			
1 法 定 準 備 金	2,700,000		
2 任 意 積 立 金	0		
3 当期末処分剰余金			
(1)当期剰余金	△2,112,459		
(2)前期繰越剰余金	<u>10,639,194</u>	11,226,735	
4 資 本 準 備 金		<u>203,725</u>	
剰 余 金 合 計		<u>11,430,460</u>	
組 合 員 資 本 合 計			<u>97,240,460</u>
負債・純資産合計			<u>111,335,640</u>

7 損益計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位:円）

科目	小計	合計
I 事業総損益		
1 事業総収益	123,739,236	123,739,236
2 事業総費用	96,141,106	96,141,106
事業総利益	27,598,130	27,598,130
II 事業管理費		
1 人件費	22,520,627	22,520,627
2 旅費・交通費	1,055,717	1,055,717
3 事務費	809,891	809,891
4 業務費	292,161	292,161
5 諸税負担金	1,477,348	1,477,348
6 施設費	4,039,521	4,039,521
7 雑費	670,622	670,622
事業管理費計	30,865,887	30,865,887
事業利益(損失)		△3,267,757
III 経常損益		
1 事業外収益	5,763,202	
2 事業外費用	5,188,503	
事業外損益		574,699
経常利益(損失)		△2,693,058
IV 特別損益		
1 特別利益	760,599	
2 特別損失	0	
特別損益		760,599
税引前当期利益(損失)		△1,932,459
法人税、住民税及び事業税		△180,000
当期剰余金(損失金)		△2,112,459
前期繰越剰余金(損失金)		10,639,194
当期未処分剰余金(損失金)		8,526,735

※ 「5 西川広域森林組合の概要」から「7 損益計算書」までは、令和5年度西川広域森林組合通常総代会提出資料より抜粋。

8 監査の結果

西川広域森林組合補助金については、木材生産を伴う森林整備実施のための現場作業員への指導委託料及び経営アドバイザーへの謝金、林地残材搬出に係る事務職員の事務作業に係る経費及び林地残材搬出実施団体への委託料に充てるために支出されている。

当該補助金は、「飯能市補助金等の交付手続等に関する規則」に基づき、「飯能市西川広域森林組合補助金交付要領」が定められており、交付申請書及び実績報告書

等の添付書類については要領に沿ったものとなっていた。また、関係する会計帳簿、貸借対照表、損益計算書及び証拠書類を照合した結果、適正に処理されていると認められた。

所管課においては、今後も交付先の団体がどのように補助金を充当しているかを正確に把握し、補助金交付の透明性の確保と適正な交付手続に努められたい。

最後に、西川広域森林組合においては、令和4年度の事業収支が人件費の高騰等により収益性が悪化した影響もあり赤字となった。今後は、職員の定着、育成に努められるとともに、理事会内に設置された「経営改善計画進捗管理委員会」による議論を深め、事業量の確保、計画的・効率的な運営を図り、経営の安定化に向けた取り組みがされることを望む。